No.479

令和５年（2023 年）有床診療所の現状調査

江口成美

本調査は全国有床診療所連絡協議会会員の協力を得て、有床診療所の実態把握を目的に継続的に実施してきた調査で 2023 年７月に実施した。４年近くに及ぶ新型コロナ感染症に加えて、昨今の物価高騰、賃金上昇の影響を受け、わが国の病院、診療所は厳しい経営環境に直面している。有床診療所も経常利益率が悪化し、看護職員など人手不足で苦しい経営を強いられていた。その中で、病院の後方支援、介護施設との連携、在宅医療が困難な高齢患者の受入れ、専門手術、分娩、在宅医療を実施する現状が示された。全世代型地域包括ケアシステムが推進される中、かかりつけ医が患者・住民の多様な医療介護ニーズに対応していくため、入院医療と外来医療の両方で手当てが求められていた。平時にも有事にも有床診療所の病床変更をプレビュー（新しいタブで開く）を活用していくための方策を本調査より探る。

▼ダウンロード
https://www.jmari.med.or.jp/wp-content/uploads/2023/11/WP479.pdf

目次に戻る